

あぶしん景況レポート

2025年10～12月期



総合企画部

Vol.22 2026.2発行

当地区の概況

【業種別天気図】

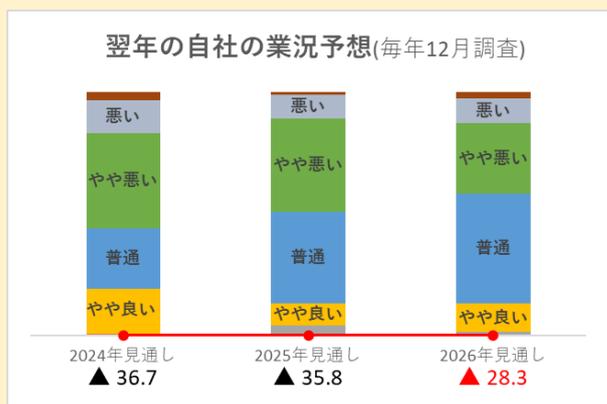
調査対象:120社

業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2025年 7～9月								▲ 11.7
2025年 10～12月								▲ 8.3
2026年 1～3月 (見通し)								▲ 6.7

- 2025年10～12月期（今期）の業況判断D.I.は▲8.3で前期比3.4ポイントの改善だった。業種別に見るとサービス業、建設業を除く4業種において改善となった。
- 2026年1～3月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲6.7と、今期実績比1.6ポイントの改善を見込んでいる。

特別調査 - 2026（令和8年）の経営見通し -

- 2026年の自社の業況予想について、「良い」（「非常に良い」「良い」「やや良い」の合計）と回答する割合が13.3%、「悪い」（「非常に悪い」「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」の合計）と回答する割合が41.7%となった。この結果「良い-悪い」は▲28.3と1年前の調査（▲35.8）と比べて7.5ポイントの改善となった。
- 業種別で1年前と比較すると、製造業、サービス業、建設業、不動産業は改善、卸売業、小売業は悪化となった。



【業況判断天気図】



業況判断D.I.指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくはくあぶしん>
各支店へ！



携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん
<http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	25.0	45.0	20.0	10.0	▲ 5.0
	実績	0.0	35.0	15.0	35.0	15.0	▲ 15.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	35.0	35.0	20.0	10.0	5.0

業況判断 D. I. は前期（実績）より 5.0 ポイント改善し、▲15.0 となった。経営課題では、「原材料高」が最も多く、コスト上昇圧力が続く中、収益確保が引き続き課題となっている。

○経営課題

（複数回答）

項目	今期	前期
1 原材料高	50.0%	40.0%
2 人件費の増加	45.0%	35.0%
3 人手不足	30.0%	40.0%

○重点経営施策

（複数回答）

項目	今期	前期
1 経費を節減する	65.0%	55.0%
2 販路を広げる	55.0%	55.0%
3 人材を確保する	50.0%	50.0%

卸売業

業況判断D. I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	5.6	50.0	38.9	5.6	▲ 38.9
	実績	0.0	16.7	44.4	33.3	5.6	▲ 22.2
来期 (1-3月)	予想	0.0	11.1	61.1	16.7	11.1	▲ 16.7

業況判断 D. I. は前期（実績）より 5.6 ポイント改善し、▲22.2 となった。2026 年の経営見通しについては、「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」と回答した割合が 55.6% を占め、全業種の中で最も弱気な見通しとなった。

○経営課題

（複数回答）

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	55.6%	66.7%
2 同業者間の競争の激化	38.9%	33.3%
3 取引先の減少	27.8%	22.2%

○重点経営施策

（複数回答）

項目	今期	前期
1 販路を広げる	77.8%	94.4%
2 経費を節減する	50.0%	55.6%
3 新しい事業を始める	22.2%	33.3%
3 情報力を強化する	22.2%	16.7%

小売業

業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	19.0	66.7	9.5	4.8	4.8
	実績	0.0	23.8	61.9	14.3	0.0	9.5
来期 (1-3月)	予想	4.8	14.3	66.7	14.3	0.0	4.8

業況判断 D. I. は前期（実績）より 9.5 ポイント改善し、9.5 となった。景況感は持ち直したものの、経営課題では「人件費の増加」や「利幅の縮小」を挙げる先が多く、物価高や人手不足の影響が引き続き重荷となっている。

○経営課題

（複数回答）

項目	今期	前期
1 人件費の増加	38.1%	28.6%
1 利幅の縮小	38.1%	19.0%
3 人手不足	33.3%	33.3%
3 同業者間の競争の激化	33.3%	14.3%

○重点経営施策

（複数回答）

項目	今期	前期
1 経費を節減する	42.9%	38.1%
2 人材を確保する	33.3%	19.0%
3 品揃えを改善する	23.8%	23.8%
3 店舗・設備を改装する	23.8%	9.5%

サービス業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	15.0	65.0	20.0	0.0	▲ 5.0
	実績	0.0	10.0	65.0	25.0	0.0	▲ 15.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	5.0	60.0	35.0	0.0	▲ 30.0

業況判断 D.I. は前期（実績）から横ばいとなり▲15.0 となった。経営課題では「人件費の増加」や「材料価格の上昇」を挙げる先が増加しており、人手不足も含め、コスト負担の高まりが引き続き景況感を押し下げている。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人件費の増加	65.0%	55.0%
2	材料価格の上昇	55.0%	50.0%
3	人手不足	40.0%	35.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	50.0%	60.0%
1	人材を確保する	50.0%	45.0%
3	経費を節減する	40.0%	40.0%

建設業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	9.5	23.8	33.3	23.8	9.5	0.0
	実績	0.0	14.3	52.4	23.8	9.5	▲ 19.0
来期 (1-3月)	予想	4.8	9.5	57.1	14.3	14.3	▲ 14.3

業況判断 D.I. は前期（実績）より 4.7 ポイント悪化の ▲19.0 となった。経営課題では「人手不足」を挙げる先が引き続き多いものの割合は低下し、「売上の停滞・減少」や「利幅の縮小」が新たな重荷として意識されている。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	57.1%	76.2%
2	売上の停滞・減少	38.1%	28.6%
3	材料価格の上昇	28.6%	28.6%
3	利幅の縮小	28.6%	19.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	57.1%	71.4%
2	経費を節減する	42.9%	57.1%
3	技術力を高める	38.1%	38.1%
3	販路を広げる	38.1%	33.3%

不動産業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	5.0	5.0	85.0	5.0	0.0	5.0
	実績	0.0	10.0	90.0	0.0	0.0	10.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	15.0	80.0	5.0	0.0	10.0

業況判断 D.I. は前期（実績）から 5.0 ポイント改善し、10.0 となった。経営課題では「利幅の縮小」を挙げる先が増加しており、競争環境の厳しさが引き続き意識されている。一方、重点経営施策では「情報力の強化」や「宣伝・広告の強化」に取り組む動きが強まっている。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	利幅の縮小	45.0%	30.0%
2	同業者間の競争の激化	35.0%	40.0%
3	売上の停滞・減少	25.0%	25.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	情報力を強化する	45.0%	20.0%
2	宣伝・広告を強化する	25.0%	10.0%
3	販路を広げる	20.0%	30.0%
3	経費を節減する	20.0%	30.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

回答社数: 12,953社

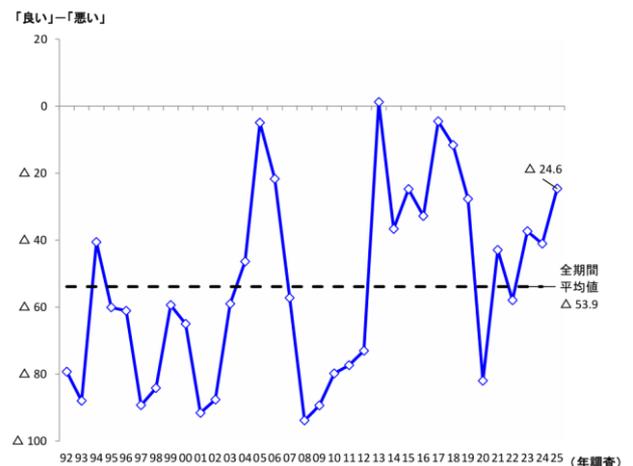
		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2025年 7~9月								▲ 5.7
	2025年 10~12月								▲ 2.4
	2026年 1~3月 (見通し)								▲ 7.9
東北	2025年 10~12月								▲ 11.6

- 全国の2025年10~12月期（今期）の業況判断D.I.は▲2.4、前期比3.3ポイント改善と、3四半期続けての小幅改善となった。2026年1~3月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲7.9と、今期実績比5.5ポイントの悪化を見込んでいる。
- 東北地区の2025年10~12月期（今期）の業況判断D.I.は▲11.6と、前期比5.7ポイント改善した。2026年1~3月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲25.1と、今期実績比13.5ポイントの悪化を見込んでいる。

特別調査 - 2026（令和8年）の経営見通し -

- 2026年の我が国の景気見通しについては、「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答する割合が15.6%、「悪い」（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）が40.2%となった。この結果、「良い-悪い」は▲24.6と、1年前の調査（▲41.1）と比べて16.5ポイントの改善となり、1992年の同調査開始以来の平均（▲53.9）も大きく上回った。

（図表1）我が国の景気見通し



全国の調査員からのコメント

- 円安傾向が続いていることで収益が圧迫され、厳しい経営状況が続いている。
（ブランド品卸売 神奈川県）
- DX化による生産性向上に注力し、職人に依存しすぎない営業形態の確立に努めている。
（総合工事 山口県）

【調査要領】

1. 調査時期 2025年12月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。